

緑の担い手

緑の雇用 研修三年目を 終えて

有限会社 鈴木木材

荒井 靖 智



私が林業に就いてから三年の年月が流れました。

私の主な仕事は丸太の搬出作業ですが、少人数の会社なので伐倒・集材・造材作業を行う時もあり、日々技術を磨いています。林業は手応えのある仕事で、充実した毎日をご過ごしています。

緑の雇用制度については、会社に入る前から知っていました。働きたがら資格も取得できるので、以前から受講したいと思っていましたが、会社に入ってからすぐに受けられたのは幸いでした。

この三年間を振り返ってみると、本当に良い経験を積むことができたと思います。一年目は山の歩き方から重機の操作まですべてがおぼつかず、毎日くたくたになっていた記憶があります。中でも残雪の中、集材でワイヤーを掛けに崖の様な坂に登ったことは苦い思い出です。

二年、三年と経験を積み、最も仕事で意識していることは「どうやったら一番楽に仕事が終わるか」です。例えば登坂するにしても急な所を避けられるルートを考えるといったことです。頭を使うことで省力化できます。

集合研修では県内の他の林業会社の方達から技術を学ぶことができました。また、同業の仲間というヨコの繋がりができることも大きな収穫です。

今後は緑の雇用制度で得た技術と資格を更に活かしたいと思います。そして、より上を目指して精進するつもりです。その結果、林業を発展させていくことが私にとって一つの目標です。